KODAK Color Control Patches © The Tiffen Company, 2000
Kodak LICENSED PRODUCT
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black
Centimetres

特別 ~10
3691
3

士族編入家録是迄之通

究竟候事

12
門へ18
独1698
巻3

月見の友追加

むかしあるがまれものこゝろふかきがあり。其佛其社
順禮して。祇園清水より。大佛りいまとり。友と
此佛を見くらべるに。大佛とかのどさ
のこゝろさよあるもとおもはるる。今ひとりは此を
はくいるるく。まもわどもびやうしき佛をたゝきふ
あるべきやうづまの所ふう。たくさん佛此と
きてりまして。なんやかやあるそぶてこゝろづて
ようさてるとこゝろみくせ世樣人とあぼるくく。
えもこれのものさ[illegible]ことりの法を[illegible]
月見の友

めくるのふもとまをあつ　まとひきるゝばぎゐんきい
れ同善紙うちこてみつことうちゝゝひいて
ゝゝそ抜ゝいづもとそのほかこゝふかゝんそのこと
ちとをゝくゝ小眼鏡ゝひて見もハたてゝふこ
ゝそのこをとをゝくゝ大眼とちゝて見もハちい
ちこゝふゝゝいかんとゝもこ湯の歩迎ハ是よ
石ぶんゝいちこゝとゝゝ出歳九号数又百ゝい
ちゝうもハゝそゝ出たゝこをゝゝてゝとゝゝ
ゝあゝをゝつゝ半ゝとゝ人肥半ゝ法をゝつ
てたゝとゝとゝゝ智なる紙ゝつゝ半ゝとゝ

南海ゝ紙ゝとゝのゝ大馬ゝゝゝそのゝこゝこゝつゝこゝ
をゝ出ふゝゝきゝ九ゝん月ゝ書紙通ゝて紙ゝとゝうゝ
て虚空ゝよゝとびゝゝづゝもゝ雲をゝものゝこゝゝゝん
とゝゝゝぐゝ海ゝゝゝうゝて枯木ゝとゝゝゝ胸ゝゝや
ゝゝめてゝゝゝゝゝゝゝ紙ゝゝ三ゝ世界ゝて一眼ゝ見ゝつ
ゝゝゝゝゝゝゝ自員ゝゝてゝゝつゝゝゝゝとゝゝゝつゝこゝゝ
ゝゝゝ海ゝゝゝゝゝゝゝ

とのまるバうせもの多ゆゑまつて命ばうしるの
ゆゑ〳〵すとゝいふ。ひ島こゝをさゝ。れどうひて是
ゆゑ。天地の号り。家〳〵海さる大魚あるまゝと。
ゑまんゝいきたゝ。ぬれみゝくせんまんつまたさ
てきたそいつゝ大魚ゆゑんとふゝいくぬれ
魚ばそつゝ。言てゝうくゝ。家そこゝをたゝ海ちゝまり
てより。海龍りすゝ。海老みりとてゆゝね。
明神うちたゝひてそゝをゝくたさる海老あり
とあゝをゝをる。ゆつゝ明てゝうくさゝだゝそ。
海老をあゝらくゝそ。是れまゝ〳〵る。大魚ハある

まゝと自負ゝをゝりゝさゝども大魚ゝをまゝ〳〵
ひ海老を入ゝうゝあり。大魚ゝうゝふゝゝまるゝと
思ゝゝいうゝゝをれする地あり。さてハ大魚地り
ゝゝまるゝと思ゝハ地を作ゝむ天あり。大魚天みを
とゝぎゝぬゝり。天の天ゝる元あり。ゝゝて天ゝ
龍ゝゝゝど。ゝゝくゝさゝとゝ。ゝすゝりゝゝとゝち龍ゝ
てゝゝゝとゝりゝくゝゝゝゝゝゝゝる
明神れゝゝくゝゝをゝどゝたゝさる元ゝゝゝの
天ゝゝ龍ゝゝゝゝとゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
みゝゝぬゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

いとぐち一つ二つハ七ちのさき事老眼ゑんぐ
わつぶさつをどもをつるめてゑんをぐゑんぐばるをそ
わつぶこれハすみりちきをもちぬこをたちのさ
こをとりめだをつぶみぢんゐ紙ちのさーゝ月うび
をとをりりくこをもだゝむりくきりゝをふとをつぶ。
ゐ紙ちのさーとすだりつぶゝかをりれさゐ紙。
りりくうをハをつぶゝるめをつちわりゝみりそゐ紙
こををりちのさーゝかゝとのこをぬりゝをぢゐる
めをちかゝさをもをつれ。ををるハゝゐめゝら
ゐ方事あり。事ハをりだつぶゝされどもはりり

いりてこをもをりゝをふむすびてこをもをゐる。
かの天地をりゐて大明ハをりだつぶゝ。おぼゝめだか
らぶゝそをすをとりりてをてゝんぶゝ。おぼゝくゝさ方ハゝさ
をとあくうすゐるか理やり
をゐこーをりゝひをゝれ紀人事知ゐををゐる。
つぶさかけをども虛空をりかけをゝはの國組
の浦ゐいをりぬそのを為を流水をゐをゝをりゝ。百く
さゐをあをうぶゝむりゝ。伏羲神農黃帝をりけ
めゝ世の治乱盛衰をめをり。老子孔子れ事を
ゐをゐゐ。ふゐるかのゝだんぜりけををりけく再をおど

ゐて。後のよりとさるまゝ。星人とゝのていうとく。老子ハ
胎内より八十年。後ごとて生まれ。そのまゝ白髪か
ゐゆへに。老子といふそ。海とあや。さうまは。流あり。
答て曰。りうそなりとさふこゝそとゝ。くまゝ。
さゝ。だ海とはめて。りん。老子ハ八月めふむまれて。
八さいめて死。その八月を。八十年とおやまつさるゝ
こゝさうり。白髪とゝふもうそなりゝ。ゝうゝあり。
いつゝとありさゝ世と。ゆゝしとゝるさて
ゐまたさやちごいうみそもあゝだ何として。孔子
の禅を老子ゝ同又八八十一章めふ云ゝ。寿ゝあるや。

ゐとふさゝくあふりとゝ。ゝ古法とゝやゝりふと
づょさくやはゝるふゝこゝとりいまをゝるべと
さゝやはゝとおゝるとやとゝてゝさゝりゝぬ花
をさうせゝあはひふんくゝさゝり。はとゝさいげく
ゝもあゝ八歳ゝめりゝる。童ふこゝりぜんと
ゝゝゝゝはゝるゝとはゝさをゝり。はゝ流あゝなゝまた。
ゆゝゝゝをゝうはゝゝ流水ゝそゝゝゝゝと水ま
ありてゝゝはゝうせふはる。童ふゝまふこゝとゝい
ゝはゝていゝゝくゝゝゝゝまはこゝれ。ゝのせはあり。
さゝゝゝゝこゝれゝふゝゝんゝとゝゝはゝゝ

うせふけるとそ
雑俵の人といせ北人と更姫ふるりてゝりあく
かくしひけるり。秋の比。舎兄より。なのしをと
もちさるとさりり。めれいらく。凡事あるなし
かるとおりとこて。紙さいて。こを八れまはざるり
とゝかひ。かひ。ひ。ばりけるをとふ。なのちを
ある風情しさ。こうの。さてり。新していらく
をけ。おもところふりてかいをを家
なのしふのせれまをとゞさ
といひ。ぬ。通さて。ゝり。若かぶんくなゝ事八

稚くゝ。をり。をり。ゝ。ゝ。ゝ

まゝ祈き徳係あり。十王いづきをあつまりたまふ。
金殿玉廊ふ玉れ床とあゝべあゝさろもむろ
なゝしさ。山海のちんぶいふ國ちれさろゝとこいり
て。月夜のわうちをるゝぞてゝるゝ。ちさゝふの光
あゝゝび裡とあつらゝまゝとなをいてこて海をぷ巳
けゝさをけ。十王歓喜あさうゝびぷゝくあるゝぶふ。
月数を知ゝくまゝをパ十王幸國くゝゝるゝ
なるゝふ南方王のいるくぷゝさ元第りゝ
まゝゝぬゝうさ世といふとそ思ひ紙ゝう。
この沢池王の仁愛ゝとてあゝびていふゝびゝ

いゝゝ乃伏義神農の大聖荒舞れ聖とふよ
おゝふゝゝびゝゝをとゝぷいゝ平ゝ保ゝゝろあり。
人ゝハ。ふ七窮下ふ二窮とて九のあるけりゝ王
ふ一定もあ。ゝ。ゝをゝふゝ天りさせひゝてぷゝく
一つなるをなりゝとあるをんをゝとゝ志ゝるゝ
とてぷゝくゝ一定ゝゝ信ゝゝゝなるをあゝ九人り
九定さゝまりぬ南方王ハ下知するゝ知ゝあゝりさて。
目をなゝけ。異ゝあるゝゝゝるゝぷりゝとゝすゝ保ゝゝ
あゝりゝ九定成就せんと。おゝゝふ時。ぷんゝゝ。む
ゝゝゝあゝゝをゝれゝ。十王ゝゝゝくゝゝてゝゝ

とうしやうじんぐうこけらぶそのうらふ。
おのくあ〜そひいでさくぎもものあけやう。
いしにしへいやたまのこうもれとのれこうも國淨ふ
あらひ。散乱狼藉ものとなす。あきやうしうらふ。九
人ようあてこのくしけ事いひ出うらハ南方まふ。
さもふそがありとて。九人してよひ南方まところ
しをるこそむぎんあきたせいふぬもいあき
ハ如ものとせんこふ。九人のまいまごかの〜
そひまばかうちうふ。大切なる澤池まところ
すさへあらふ南方まゆでこしけるハあがくしき

ちもいうんこふ。わきくいつきのこうて世
ふんがくやうとて。九人こうもにふもふ。
そうこにふむいがりしあまとこふ。
いちくちこのこうけてうせけるこうこ
すくあこと事とるやうの國大名ものこふ。
爰ひとうれとこのまづしたの國大名ものこふ。
いあやこのいがくせこまいがをこうもしるふ。
あのわやこのいたつこふ國ふ大乱おこりて屋ま
げるうり。けむこのおこをこ方乃大名としつうこ
きけるふ奮起くしてこのくに乱世とこのあ。

天下と太平よとぴめりよう。大君よう。征夷
将軍り紀ぐうまし。法国の大名高名れつき
とこそとあ思よあと。つ国名をもこふー。
せ仕乃大名ふ名。いとあやくぴ乃げ知よこそふ
る。風りあびく草木ものとー。こあ更めの知
ところぎこぴこ毛のこあわぎこぴでこさうせぴぎい乃
こころぎーきこなのきのーず。わとやくらどこり
けるれぎこぴここやれ山乃。吉紙うこまぴかつーぬ
いろやぬうーどつこちる。松ころるにすこうーの。
こまの海さこのめどそへてよもとをつこぬ書く

りてんふあくハぴこよくの鳥らふかくえきんと
のあぎぴいらくここきこの乃こくこひあこうず。
ふせころげよもこもないうんと移やれむぎと
のあり姫ーみぎこいれこもふハ一樹れくげ一河
れやぎもふあれーぎこさくなのきのーぬるんとくや。
まーて達月のわくあこさいとせ乃ちぎこハ。
くちちあーぴこくハ身ハえっあくるくてこ。ふれそ
こもぴこくふ中と月ぎく一だんのうすこある時ハ。
ぎやかこうこきあこーとをありてやくこたん作
身と孫こまくぴまなくえ私とてぴこ

しをる。姫りしてふるうとぞ。ひけとゆしへ。
ゆわハたうあくさわあるふみける
長をこのむ人いあり。へ乃つハものそあるゑを
てらゝ〳〵つゑ〳〵たんをい紙はきをし。和漢れ。
ゆ〳〵のものをもいらくめきゑ。りてゆてゆ
そぶ。ゑ〳〵とれ。美女なりいるくゑ。ゑ剛の
るのふあ〳〵ど。ゆ〳〵れりのとよハけいせいるゆ。
わしなり。ぎりきありゑ。ゑうきい
なりと。亀菊あり。勾当の内侍なり。ゆくれゑき
とゆ〳〵のをれとゝそいゝわぎゑけきをこれゝたわふ。

あゝぶ〳〵きつゝきをそのこゝろさ〳〵をゝぐ〳〵ち
ゆ〳〵をいきぐすして。酒天下をゆあぼすとゝいゝ。
さきをゝそ。大地れ。原童として。大山をれせて
ぎとゆまばるをいまぐ。ゆゝぶくとゝる。蓬萊の。
ゝくいづゆよつきぬゝ。はくきぬくつゝきゆか林
れたわりゝ〳〵きゝ。きるゆれつゝきハゆふび
きゝゆゆくとする。ゆふゝろをつゝきをとゝろ
ゑ。ゆとゝいとゝれゝゝよ。方桑のうゆ。
ものふをゝぐゝよあれたわゝけきをゆつゝき
と思へ。ゆこゝきをとのせゆぐしそゝゆあゝものゝ。

きゝあり。つゝきをきゝて。ぐひ。よゝきゝ
つゝきよまゝり。ゆゝ。ぼをきゝくハあり。ぜんぞ。
とゝりてつゝとせん。つゝきゝぐつゝきゝとするハ。
つゝ紙のつゝきゝにあゝゝ。ぐつ紙のつゝきゝをゆゝり
ともハつゝきゝぐつゝきゝとするいゝをきゝ。
ざきゝあり。
或なく女乃いゝく。居去よハ。屋うきゝひ。家紙
ゐハそとをゝ。ゐめ。れの。ゐ町。娘女といゝ。去今
れ通論ゆゝをきゝこゝをといゝあといゝん。紙こゝをを
をゝりて。母女とやどゝうをきゝハうをきゝうゝ女あゝめ。ゝをきゝハ

わゝのゝうゝとゝゝゝとゝゝいゝんとあゝをきゝハ。屋うゝきゝひ。
小町ゝ手れゝうゝ。ゐゝいあゝんあゝゝうをきゝ。のゝるゝれ
ゝきゝれゝきゝゐゝきゝれゝゝうあゝゝゝゝゝ身ゐゝすゝ
のゝをきゝゝあゝをきゝゝゝゝふゝをゝゝゝてゝゐあゝゝゝきゝゝ
ゝゝゝゝをきゝ紙ゝゝゝゝゝゝ。ゝすゝをきゝハあゝゝ。天下ゝれ。ゝ
れゝゝくのごゝ
一とゝゝゝだゝをゝゝゝ。二ゝあゝゝ。自然の理あゝゝ。ぜんぞ。
ん紙つをんゝゝ。ぜんぞんゝゝゝゝゝ。一をゝゝきゝのゝ。
名紙ゝゝゝゝてゝゝゝゝゝゝ

あり。方角とうさうさまざまいごのごとくあり。
まり風と生じ。風ふきあつまりて雲生ずと云ふ
自然にして雲雨あり。雲雨あつまりて自然あり
雨方中方後方なり。雨降如雨とは。是如来等
此。雨とのたまへる。佛おのづからとなり。
こころを移ひらかしてまつるべし。移ひのちり。
成就とつくべし。十月十四日。一題了。
なんぢを恵うんまし。信心変定して。家をまもりを
しと。再三。移んじちふ先のりけるやうにのよく
りく。信心成ぬ。雨方よむりて方ざめり

きゝしして。性生の素懷とんりりけ。一心清淨なりが
らうに。一念不起変定してなりけるバ。異香ふん
くとして花ゆり。紫雲空とあびさきて。楽をさ
ふふ。あつくとうんくとして。安安即寂光とも。ろ
性だし。性生れ人。何のうまれ。世のなかとあるん数年
れどうんくいの移んよりつさとれくありてそれ
きて移。大屋よ。雲うすくなれらつく。光明赫くや
くとして。大海波あり。して。清水まつさりとよ
うとうとやるごとくぺんぺんぬふ。清くとして。こうる
のあつへたまふ。金色の蓮華りけるもけるぬ

ちをはぶくべしてぶんでこれをこれ二ぶのうり。葉は
帝をまふをとりてあらせわが胸中よりとび入
ぎりぎりとだ。数うごうりとまあるこ佛ぼうりもろ
ともにむ糸の中へ母どりたやふ。海あこ紙ゐ
てこ身をうたうりうんをもえ。今やで。肉身ちりしう。金
色のたぐうどあるこ。高月拾のぼくうとうすが
たとあくりいりきゐいでてゐをハ風となる
月をはきごうてうんれへ。ちりとうりをハひと
あるかこ子世界ハまあこれやうへ月をたたり
ちをあひ。天地のうるふをいのをおこそくく。

くくとうして天まへ猩朗として。高月拾あり。有
情如情ぜんぜんぎりと出でてぎりとう
しいりく。静く。寂くゆゆくとして金色のいろを
あくぎりて猩朗きり。唯一念不起信心変定猩朗合
雲。終夜念佛をうるこ。
古根源ふうあひきるる人ぎりくくふりの契をき
けぎ。求のりあるこハ万物れたるきりゆこ。
時そきをつうちどり。聖人ぎりとりてみ。まて
ねたとたこそ元吾の根元あり。天地感ゆてハ
元あり。ゆうりあるこ。糸をこを万物のたるきり

時を養みして万物長盛の時なり。天地へ亨とす。
聖人の義あてんとしたらいよ。家こそ万物は。始さに
して根元なり。さうあきら聖人中央より位をおさざ
まもるさきさみくべ乃みてハ信あり。信ハ天の数
也。金ういろく家ろこそ後くはみ方のとまり。色彩
をしりくいのとさ志ろ後くさなり。志ろさハたちで見
みて本色なり。時を秋なり。秋ハこゝを四時代中
元を異乃中道なり。義とす。天こそハ利とす。
水はいろく。家こそ万物乃のこゝ在り。時を
多なり。多ハ万物はからはきわてはきふいてうて

生ずる。家ハそのこゝ多ふあり。故よ良しとと。
智とす。陽来復とは。ひ後くろうちとぞもむる
そのまくハてさのみなり。万物の影はやぐこゝ
でハそぐちがて。いろうみてハろうき八万代
いるくとゞ後くろ色なり。めく。とのゞさるめく。ぶんの
一法なりよその理ゆゝとゝふ事あり。鳴呼。
志後しく。ゝを。みるが。太極ろうく。陰陽とあり。
陰陽志子とさゞめて。ゐ行とする子。自極ようめて。
自極みゆゝ子天一地二天三地四天五地六天七地八天
九地十。ゝ十。ろうして。ゐとなる。地ふそゝぐくゐ行

とうくらくとあるとは天三のこ信して風雨暑湿燥冷
の気象とある。天りをとづく氣あつて四てらか
きは天なり。数は陰なり。木火土金水と。四てらの
陰は地なり。数は陽なり。水は水なり。火は火なり。土は土なり。金は金なり。
は十二支とある。四時の数也是を陰陽配合とす。
自然れ理ありて自然く
徳地地あるはやはりものの
ものとなるよりくはなし。時は万出たるものの時
れは人事をもつて紀事とあるべし。是は物也天地人三才は
富なり。軍人は志ばいうる勇剛の人をもつて

うごくはたらいて大言五行なり也は雲中みそびわう稼。
蒸蒸して。そもの地。そこのふもぎくれたりつき
事をもつぶ人として聲とすぐせだ脾をあぶる。
脾は氣をつきどかる。言不是されは血をてさがず。
血言不是して。内傷をとたりて経命なり。
霧は大雨みして毒を地しむ年とたりし。
毒は人のく害あくして方藏地すぐるものをうるう。
一会不起してぞくさんはそのてい天地よりは生。
天地ふとりいはや四時をとなるれ百物生ず天地
事人言もあく。書もあ。毒害自然ありてきうう

聖人ハ無象をもつて象とす。象の象とするゝ。
つ称して象よりいづる生きぬはきれいくと無名とす。
無名ハ天地のもとゝ始めなり。名ばくださる名。
つけてこゝを大君といふ。大君ハ天地の象を象と
象性といふ。性ハ無象象とゝ名の象を象と
するハ人のあり。聖人とゝもよ人の
もとあり。始めとハ始めとハ始めとゝ
史といふ。きりもとさいぐんすゝわれとゝ
といふ。母とゝの姉を。金といふ。のくの意義
いとゝ分まで。あつり。一象乃始さへふりて象とれ

さもしる。大母とゝ象とといふ。れとゝ象。名ふ名をつし。
れこゝ分ハ人へ信をもつてまゝる時ハ内外ともし。
そのをりてかんこくとをこゝふるれ月月のゝ
とゝもゝく象れゝもとゝ名でかゝしるゝごとゝ
始ゝ象ゝ始ゝ徳ゝこゝうゝあゝて長を新ふゝとゝ
ゝを志つてゝ名よとくゝやるハまゝとの大始志ゝ称で
ゝり。理を志つく理ふゝでゝるハ城の理を志ゝ称
バゝり。善を志つてゝ善りとゝまるハ實れ言を
志ゝ称でゝり。始こゝる志ゝあゝと大れ大ゝる志。名
づゝさ大ゝく理れ理ゝるハ名づく海ゝさ理ゝく。

吾の吾さるハ名づくだらさ吾ゐ〜ハ名なしさのそ
玉姫は姫ゐるの。主姫ハ男ゐ名くだら〜ぶ。ゐるゐを
ゐるだゐ〜ぶ。ゐらぶ姫ゐるのとさるべ〜
大野ハ玉地ふきくハる〜ゐ物ハみぢんふきくハゐ。
大ふハ玉地げんぐ〜うんでいぞんゐせり。いづる所
ハゐ〜〜〜〜して。昭ハ一ゐり。吉義ゐ紙ひと〜。慈
乾そ。玉紙ようゐだら〜ぶ。えんぢんゐ〜てもう
きへなく〜ゐ〜ゐ。ゐきぢ〜ひ。ゐきんずるハ富吉
み〜てうきへ〜ゐ〜ゐ。ゐんふ〜げきうきへゐうん
紙ら〜とゐだし

たゐ〜ひの吉ゐ〜ひうる所をさ〜ぶうきハうる
ゐ。ゐ〜ゐ。ゐ生きたゐ〜ひ乃吉ゐ〜ひん
ゐ。大ゐるたの〜ひ紙きもハのともだ〜き吉ゐ
ひなく〜ぶ〜ようゐ生ぶ〜さうきへをれ〜吉の
きひゐ〜ひ。ゐ〜ひハ吉ハ吉自紙ゐ〜て吉うう
夏ふ。塊嫌とゐる。嫌〜ゐ。ゐ菓ふとゐる。ゐれも
ゐ吉ゐ。ゐきゐ吉ゐ事とさ〜ぶ。ゐ〜て。ゐ〜海。
なにをうきとうんゐ。ゐの菓乃家ゐ。ゐぞハ紙ゐ
ぬゐふをう吉ゐ〜ゐ。ゐ〜ゐ。ゐ吉ゐ日うげふゐ〜ゐう
ゐきゐ吉ゐ紙きゐ〜ぶ。ゐがぢんとふ。ゐうにゐさゐ。

庫よりぬとぞ出をかう。蠟の手ぬぐひとをすゝれ
ば。ぐれうちゝ〳〵ぐらゝ〳〵うちゝ〳〵辛味をとるべしゆ
ば。ゆわうさわとうゆわうばいわとうさぐわづ〳〵
ごんもん手ちかそだ元みてたやうきれたりるさ
ぐごとく自然ふしてきつなり。ぬけを生ぜどやま
た一を生ぜど。まを生ぜ。ぬけを生ぜ。まを生ぜ。ぬけ
金を生ぜ。金又あつを生ぜ。方物うくれぐとく。理
そ手ちゝちふぬかりふかるる
し身とぞ手ちぐいまゝぐぞわづるものかとあのひく。
ゆ巻とゝぐぐみづを。きぐぐぐぬ物ちみ〳〵。毒

服毒食物ごめこりゆく物ちみ〳〵。ふちにぬること
ようゝむひのつひ。きてうきいかざいとえちく。
すてゆきうをきだぬをがゝん風よ手ちぬとそ。
ゆとみてうちてきぐよゝゆゝちふづく
つほるゝぐゝしこうりふをぬひてきごき
といふきれ。わきとゆゝだごきやうきれり
あゝぐぐきのきれきるときゝだ毒乃ぐゝ
へとかへきたるとぐゝふれなり。ゆきこれゆも
をぐ毒さへくのごとゝきれよなゆぐそ
れ余の一切れ月とうゆこぐゝむれへゆわり

が祈ひ[illegible]おこるものゝ
うくゝ抜き(八道)抜きうゝ抜きひとゝ抜きしる
そゆすきるなうふゝ町みゝてぐんのゆゝ。
ありゆくなれ(ぞうく)ゝ町分をきいてゝ
このとれりひ。なのいするゆ(なり)あいゝう。若
抜ありひ。利を思ひ。いのちを抜ゝ。ぞんくゝん
いゆむ事なゝ。くゝとせゝ。おゝよぐばる。いのちれ
うちふゝくゝぐくのゝさゝぐゝくゝいゝくゝなる事ゝ
みてゝぞぐゝくゝをゝ(げ)うるいゝ。なのゝ。祈てゝう
ゝくゝおゝゝ(抜)ゝうみゝてゝゝうゝ抜るゝうゝ生れ

ぬけきゝう。命あるふゝのゝ。ばゝとゝうゝ。若あるふ
ゝのゝず。利あるふゝのゝ。ばゝ。ゝとゝ(ゝ)ゝうとゝてゝもふ世
百歳いのちをたゝ(ゝ)ゝ。ゝゝ。ゝゝ。ゝ

ようぶつして法ふけ。そのほうひ。
まちまちなり。儒佛老とやんぞ。こ道ひるんや。
聖人ぞ。ゆくゆくやうんや。衆生のぶつひょう
て佛さうへやうひたまふこゝろとなるるれ
事をて天の德やれハぶつぢうぶつ又とりたる。
まりまをハ色ゐふなる。色ゐハ自性として德の
本ようう。本ふうくぶんりうるだりぶ。おのき
ぐ。ぶんれきるぐぶんとらずしてほうしやう
ふれこなへそのついるぬすこふいうゆ道と海
せん人ぐれぶんをきるぐし。こ智ゆうりつぐ。

うりぶどとへてろ。ぶんふきてゆふてもおくふ
うくぐどゆうりうれそこなるとぐ。中智を
時ふうりる時ようはくぐどゆるんふきて
ぐいゆすれ。菩提友とゆうこすぐゆ智ハ
まうくぐどりうりぬハ若ふうりる性ぐどゆく
るんふけくきてゆひぷそのつくぶ逆ふいるりこ
智のうちぷまちくぐぷりりあり。ぶへとりて。
佛ハまりひたまふなるうりんへるるきぐうりぶ。
るんへるるきぐうりぷ。るんハおそるだりとゆ
うりらぐすといふぷりりうりるへぷりりれうるぐ。

ひと智のさかなるもと智ハゑんよふまをでと。こゝか
のとゝろ。まつぐふこゝてる。中智ハそ〳〵くハふまを。
そ〳〵くハふまをでと智そ。悪ゑんけこゝ。ぬまを
さゝるとゝるぐ。悪をともにゑん行ゝなるぐよ。
のきの苦うゝげるとて
なきれとのりぐゝてゝむりゝ
いりゝこのとのうむ我をあまゝん
乞者のゆつゝて
なきれれの中ゝ称やきそやぬ我のりきハ
うもむきいのゆゝきゝとの業をれゝ

そのうゝきゝりゝてゝむりゝ
縁ふよりて因果とえくゝるを我又天命とゝゝばれ
ぬ因果あるべゝ。佛をこれそゝけゝてゝ因果ハ
なゝぎるとかんゞとゝするのゝありゝのゝるをぬハぜん
りゝけゝ。ゝゝ法ゝゝらを
大ふよりて大ゝれ大ゝるを大我ゝるをだゝりんゞとゝ
ふ因果りなゝゞのゝれぬしまにのゝるをゝるゝたを
我ゝゝゞ。悪ゝふゝとゝぐゝるゝふよなるをハゝのゝきゝとを
とゝんてかんゞとなるゝ。悔ゝゝうゝちの是悔ゝ是悔
ゝをゝ。悔ゝゝうゝとゝのゝ
あゝごゝ

無ふ[illegible]てゐを生ぞ。たふ[illegible]くふを生ぞ。ふそ
たりゆ[illegible]。ゐを無くるものみ分自拙り
して志[illegible]。自拙ふして志りそ姉邪
ものみて姉

丁時寛文七夏上旬洛下松雲子了意書

元禄十六癸未年二月吉旦

大坂二條橋為清町角
本屋又兵衛

小田縣　權參議
權令矢野光儀
權參事森長義
七等出仕菅包義